

第4節 防衛力を支える基盤

1 防衛生産・技術基盤の維持

防衛生産・技術基盤の維持は、適切な防衛力の整備のほかに、抑止力や外国からの装備導入時の交渉力などの観点からも重要である。

厳しい財政事情の下、防衛産業では効率化・合理化を推進しているが、健全で効率的な防衛生産・技術基盤の維持のためにも、防衛庁としても効率的な調達補給態勢の整備に努め、装備品などの整備の効果的な実施を図っている。

質の高い防衛技術水準を維持するため、ライフサイクルコストの抑制に十分配慮した研究開発を推進するとともに、技術実証型研究を含む各種研究を行っている。

2 人材の育成など

人材を確保するため、募集のための施策のみならず任用制度の改善や処遇改善などについて幅広く検討し、所要の施策を実施している。また、任務の国際化と多様化や、軍事技術の高度化などに対応して、必要な知識や感覚を持った人材の育成に努めている。

研究活動の活性化のため、任期付研究員制度を導入した。